

だい かい 第9回 それいゆコンサート

3月30日(金) 19時より、ボーカル、ウクレレ、リードギター、ベース4人編成のバンドグループ“ひき”さんによる、それいゆコンサートが開催されました。

自然・街・人をテーマにオリジナル曲(ハッピー・ほたるetc)を歌つていただきました。また、きやさんが曲にあわせてのフラダンスを披露して下さりお客様も楽しんでいただけたと思います。

今回のお料理はハッシュドビーフ、デザートは春びたりのさくらのズコットをご用意しました。

次回は4月27日(金) 民謡の世界を琴の音にのせて語る「こころ座」さんのコンサートです。どうぞご期待下さい。またのご来店をお待ちしております。

だい かい 第11回 それいゆコンサート



とうじつ 当日のメニュー

ハッシュドビーフ
まるまるポテトフライ
おくらの梅あえ
デザート
さくらのズコット
ホットコーヒー(お替り自由)



もり けいいちろう 森 圭一郎

2012年 5月25日(金) 19:00~21:00
チケット 2,700円(ワンプレート・飲み物付)
※ 定員 30名(車イス席は6席とさせていただきます)
※ お食事は18:30からお召し上がりいただけます
※ 先着順で定員を締め切らせていただきます。
※ お問い合わせ受付時間 平日10:00~16:30
4月23日(月)から受付開始

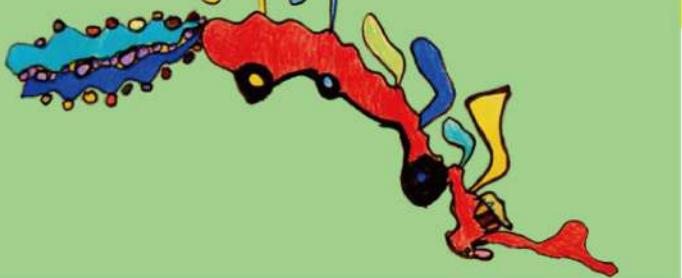
【お申し込み・お問い合わせ】

☎ 048-557-1706
(受付時間 / 平日9:30~16:30)
担当: 田島しおるまで



編集・発行

NPO法人 CIL ひこうせん
〒361-0071
埼玉県行田市栄町 22-5
TEL : 048-(555)-1100
FAX : 048-(555)-1301
HP: <http://cil-hikousen.jp>



つ う し ん

ひこうせん通信

vol.67



2012年4月20日

エヌビーオーほうじん シーアイエル
NPO法人 CIL ひこうせん発行

絵: miyoko

新年度

新たな春を迎えて

理事長 木村浩章

この冬は、雪が降ることが多く、桜の開花が例年より遅く感じながら4月を迎えました。

ひこうせんも新しい利用者、職員を迎え、第9事業年度をスタートしました。

今年度は「第3ケアホームの建設」という大きな計画があり、それに向かって、新たな組織体制で法人全体の運営をしていきます。

さて、障がい福祉の分野では、2003年の支援制度導入法、2006年に障害者自立支援法（以下、支援法と記す）の施行以来、毎年改正がなされて、障がい当事者、家族、施設や事業者は、国に振り回されています。そして、現在の支援法に変わり、新法が今通常国会で成立する見込みです。しかし、今年1月に厚生労働省が示した法案の中身は、支援法違憲訴訟の時の国との和解合意文章や、障がい者制度改革推進会議の下部組織である総合福祉部会構成員の55名の総意で昨年8月に示した障害者総合福祉法に関する骨格提言が殆ど反映されず、わずか4用紙4枚にまとめられていました。その中身も殆ど現在の支援法の中身になっていました。その後、総合福祉部会の構成員の皆さんを中心として全国の関係者の運動の結果、多少修正がなされ、3月13日に現在の支援法を変え、「障害者総合支援法」という法案が閣議決定されました。その後、政治の場に移り、与野党協議を経て、衆参本会議で可決して成立し、2013年8月までに施行予定です。

ひこうせんとしては、この「総合福祉支援法」に関して、DPI日本議議や、埼玉県内や行田市内障がい者団体・施設と連携を取りながら、本当に障がい者の地域生活を支える法律になるような活動をしたいと考えています。

今後、法律や制度改正で、法令順守を基本にした組織体制の再編等をしなくてはいけなくなる可能性もあります。だからこそ、障がい当事者、家族、支援者の政策提言等の参画がより重要なになります。そのためには、自分でこれからどうい生活したいかを明確にし、その上で、どういう制度等があれば良いのかを考える力が必要です。

ひこうせんが地域の障がい支援の第1人者になるため、そしてより長く持続可能な運営をするために、次世代のひこうせんを担う人材養成を含めて運営体制の整備に取り組んでいきたいと思います。

2012年度も多くの方々のご協力を宜しくお願い致します。

【新年度のあいさつ】

事務局長 鈴木恵子

今年度から、事務局長をやらせて頂く事になりました、鈴木恵子です。

昨年は1年間、レク課の担当をさせて頂きました。

1年間のレクの行事を通じ、行事を進めたり動かしたりする楽しさや難しさ、そして普段関わる事の少ない方との接し方など、一つ一つが勉強になったように思えます。

今年度はまた、事務局長という新たな立場から、一つ一つ学んでいく事になります。

まだ慣れていないので、理事長や副理事長にいろいろ教えて頂きながら、精一杯“みんなが楽しくて、居やすいひこうせん”を目指して、動いていきたいと思いませんので、よろしくお願いします。

あいさつ

ひこうせん第9事業年度の課題

副理事長 斎藤 貴美子

新しい年度は、昨年に引き続き、更に、障がい当事者が運営に責任を持つ体制の強化を図っていきます。

特に、昨年は不在であった定款でも障がい者でなければならぬとされている事務局長に、ひこうせん始まって以来の女性事務局長が誕生し、總務課長には初めて障がい者が就任するなど、大きく、組織構成においても、障がい当事者が運営するNPOとしての実質を備えてきました。また、PAG、PAK、企画開発部の部長及び各課長は障がい者でなければならないことも申し合わせました。

ひこうせんが、その規模を拡大するにつれて、中枢もみんなで担えるよう、人材育成に努め、障がい当事者の意見が反映される組織体制となっています。

三役及び各部・各課の責任者の氏名は次のとおりです。

みなさん、よろしく応援をお願いいたします。

理事長 木村浩章
副理事長 斎藤貴美子
事務局長 鈴木恵子

第1事業部（居住部門）
部長 内田由利江
PAG課長 大塚則幸
PAK課長 田島隆宏
輪課長 内田由利江
絆課長 斎藤貴美子

第2事業部（日中活動部門）
部長 石井紀子
こころ課長 石井紀子
からきら課長 石井健吾

総務部（管理部門）
部長 斎藤洋子
総務課長 清瀬康太

電算室長 坂田真由美
庶務課長 白石真
企画開発部（開発部門）

部長 細野恵理子
キムヒロ課長 木村浩章
HOP課長 鈴木恵子
広報課長 石橋和夫

平成24年度ひこうせん新採用職員

江森 宏和さん

今までアルバイトとして5年間仕事をしてきましたが、今春より社員として一步進むことができました。まだ勉強不足ですが、これからも今まで以上に頑張りますので宜しくご指導お願ひします。

平成24年度 総務部長

斎藤 洋子さん

今年度も、アシスタント、利用者様、各関係の皆様にお世話になりますが、総務、電算、庶務を宜しくお願ひします。皆様には親しまれる総務部になれるよう努力して参りたいと思います。

平成24年度 第2事業部長

石井 紀子さん

昨年に引き続き、第2事業部（日中活動部門）の部長になりました石井紀子です。若手の新入職員が第2事業部に2名配属され、職員の異動もあり新しい体制で、昨年より更にも増して色々な事にチャレンジし、頑張っていきたいと思いますので、宜しくお願ひ致します。

こころ新メンバー
中田 美紀さん

自分で働いてもらったお金で大切な人にプレゼントを買ってあげたいです。パソコンを覚えたいです。

新年度に向け新しく動き出したひこうせん

これからもよろしくお願ひします！

平成24年度ひこうせん新採用職員

掛け川 潤さん

この度4月から職員として働きます。創業での作業を早く覚えメンバーと仲良く楽しく安全に作業が出来るように心掛けていきたいと思っています。ご迷惑をお掛けするかもしれません、宜しくお願ひ致します。

平成24年度 総務課長

清瀬 康太さん

この4月から総務課長として働く事になりました。経験不足の所もありますが、皆さんに助けて頑張っていきたいと思いますので宜しくお願ひします。

平成24年度 レク課長

富田 有美子さん

4月からレク課長になりました富田です。みんなに楽しんでもらえるような企画を考えていますのでよろしくお願ひします。みなさん参加して下さいね。
レク課のみんなで協力してがんばっていきます。

こころ新メンバー

蓮見 茜さん

3月14日から、ひこうせんでお世話になります。好きなものはトマスです。早く仕事になれるようがんばります。よろしくおねがいします。

こころ新メンバー
宮口裕成さん

4月からお世話になります。仕事を頑張って行きたいと思います。よろしくお願ひします。

コラム れすぽんす

ひがしにほんかいじんきい 東日本大震災から1年が経った3月11日、震災関連のテレビ番組で、震災を受けた宮城県の60代の女性が「もう、容易く『絆・絆』言わないでほしい。だって、がれきの処分に対応が多いのではないか・・・」という言葉が印象的で、いつまでも脳に残った。本当の『絆』とは何かを多くの人に考えさせられた一言でないか。

誰でも、心に残る言葉が一つや二つあると思う。それが、多くの人に支持されると「名言」や「格言」となる。

日本語は、「建前と本音」、「総論賛成各論反対」等の言語を組み合わせた言葉がある。

今回のがれき処理のことで言えば、「全国にある各自治体で分担して受け入れるべきである」という建設的な意見がある一方で、いざ、自分の住んでいる地域でがれきを受け入れることになると急に否定的な意見になってしまう。これが正しく「総論賛成各論反対」の論理である。

これががれき処理問題と同じことが、障がい者の施設建設や雇用の場面でも起こってしまう出来事である。多くの人は、急な生活の変化に対応出来ず、或いは、その変化に対応するまでに相当な時間を費やす。時にそれは、偏見や差別、人の生活に影響が出ることもある。

ひがしにほんかいじんきい 東日本大震災の影響で日本列島が乗っているプレートの移動は活発化しており、特に東京を中心とした関東東海エリアで数年以内に巨大地震が起きる可能性は70%以上であると予想がされている。

障がい者の半分以上が65歳以上の高齢者である。

いつ、巨大地震で被災するか、障がい者になるかは誰にもわからない。誰でもが被災しない、障がいを負わない保障もない。これらを一言で表現するならば、「明日は我が身」が最も相応しい言葉であろう。

日本語にはお互いの気持ちになって、思いやるという意味の言葉で「お互い様」という表現がある。

皆が「お互い様」の気持ちを常に持つことで、予想不可能な事態になってしまって乗り切れ、それが、本当の「絆」となると思う。

だから、「お互い様」の気持ちを全国民が持ち、皆で被災地の復興や新生をすることが今の日本社会の急務であると思われる。

大庭紀行

-松島の思い出 1-

俳人の松尾芭蕉が門人の曾良と江戸深川の芭蕉庵を立て、奥の細道に旅立ったのは元禄2年、1689年旧暦3月27日、今頃では5月16日にあたる。二人が松島へ訪れた時は梅雨の最中だった。

松島は大小約260程の島からなり、海の青さ、島々の松の緑が映えて、とても晴らしい眺めで感激したことであろう。僕はこれまでに松島には三度訪れていたが、二度目に訪れた時は結婚して間もない頃で、新妻を連れていた。

もう40年以上前の、遠い昔の事で、妻は水色のワンピースに白い帽子をかぶり、右手に青いトランクをさげていた。妻は相変わらずリンスの甘い香りとジャスミンの香水の匂いがした。僕は薄緑色のジャンパーに空色のジーパン姿でベージュ色の登山帽を被って肩からショルダーバッグをさげていた。

外は5月の春の陽がサンサンとさしていた。僕と妻は、間もなく松島湾を望む海岸通りのバス停でバスを降りた。海は青く、大小さまざまな島が松の緑に包まれていた。海辺で小さな波が打ち寄せて白く泡立っていた。右側に島巡りの遊覧船が停まっていた。海沿いにみやげ屋が7、8軒出していた。道路沿いには、ホテルや旅館が立ち並んでいた。道路を200メートル程行った先に、海の方に突き出た所に、松木立の緑の中に五大堂の屋根が見え隠れしている。屋根の上に丸い球のような形をした物が乗っていた。この丸い球が、何を意味しているのか、僕にもわからない。妻の胸元の金のネックレスが陽にキラキラ輝いていた。二人は松島旅館に入った。

旅館は歴史を感じさせる古風な旅館であった。薄暗い玄関の片隅に松の盆栽があつて、松の葉の緑が目に染みる。玄関の上り口の床は黒光りをしていた。

...つづく

参加者募集

☆ しゃべりば

5月 10 日 (木) 19:00 ~ 21:00 本部にて
誰でも参加OK 無料です(軽食・飲み物をご用意しています)

☆ 5月 29 日 (火) 餃子パーティー

5月のみんなの広場は餃子パーティーを行います。餃子・ミニラーメン・ミニチャーハンが出ます!
会費は、300円です。皆さんご参加お待ちしています。
お申し込みは、レク課担当 細野、富田まで 締め切り: 5月 15 日

5月の販売予定

みらい	5月 10 日(木), 24 日(木)	11:00 ~ 13:00
やすらぎ	5月 17 日(木)	11:30 ~ 13:30
市役所	5月 1 日(火), 15 日(火)	11:00 ~ 13:00

かっぽフェスタ	5月 16 日(水)	時間未定	場所: 埼玉県庁第2号舎
おにっこまつり	5月 20 日(日)	時間未定	場所: おにっこハウス



熊谷のギャラリー Space で火曜日と木曜日に占いをする魔女です。

古術はタロットと西洋占星術、前世占いなどをやってます。

ちなみにタロットはカードの絵から必要なメッセージを読む神秘的な占い。

例えば・・・恋愛占いだと・・・

現状、これから先におこる未来の出来事、相手が自分をどう思ってるか、相手のこれから気持ちの変化、相手の理想とする異性的好み、相手の周りにいる影響がある人物、二人が上手いくために必要な事、相性など。これら全て一回の占いでわかります。

もちろん、タロットでは他に

自身の悩んでる問題の解決案、総合的な必要な未来のメッセージ、仕事、夢、人間関係など知る事が出来ます。宿命はその人の持って生まれたもの。

性別、国、家族、魂の個性は変わらないのです。

そして運命は変動するので未来をより良くするために、占いでどうするか現状を見つめ知ることが可能です。

悪い結果が出てもその人の悪い次第で未来をより良く切り開くことも出来ます。ぜひ占いを楽しんではいいと思います。

白魔女☆美麻

ミニツアーレポート

3月 17 日 (土) に、ミニツアーレポートを行ってきました。

気象的な悪条件がいくつか重なり、急きよ行き先を変更して、お台場に行ってきました。予報通りのあいにくの雨で、車の昇降時や、移動も大変でしたが、ショッピングモール内では、皆さん自由に買い物を楽しんでいたようです。

参加者は、定員を遥かに上回る39人(運転手を含む)の方々に参加して頂きました。ありがとうございました。



あっとキミコ

支えあう仕組みづくり 4

...森修さんのこと 3 ...

齋藤 貴美子

(前回のつづき) 森さんは、市民会議の活動を通じ、運命の人、堤下君子さんと出会い、結婚された。この結婚は、お二人にとって、最高の幸せであると同時に社会への挑戦でもあったであろう。お互いに支え合いながら、幾多の困難を乗り越えて、現在に至っているに違いない。お二人が、どうやって現在を迎えたのかを知る手掛かりは、今の私にはない。大阪に伺った時にも、お聽きする時間がなかった。森さんは、埼玉にも来たいとおっしゃっていたので、森さんと君子さんの生活は、埼玉にいらしたときにお聴きすることにしよう。

森さんのことを皆さんに知ってもらおうと思って書き始めたこの文も、今回で最後になる。

森さんから私が教えてもらおうと思ったのは、森さんは幸せなのかということだった。森さんにとって幸せとは何であったか、森さんが、或いは、障がい者が幸せになるためには、今日本に何が必要なのかということだった。そして、このお話を話す時間が無かつたので、次にお会いする時にとておくことにする。なので、最後に、私が見た(家政婦は見た、ではありませんが)森さんの生活をご紹介してみたいと思う。

森さんは、四条駅から程近い、親から受け継いだ家に住んでいる。家には、いつも支援者の方がいるようで、電話や森さんの秘書のような仕事をされていた。介助者は、大阪教育大学の学生の方のようである。今でもボランティアの人たちによって、日常の介助を受けている。家は改装し、バリアフリーになっていて、通された部屋も大勢の人が集まれる部屋だった。日頃の森さんの活動が伺われる。話の途中で、驚いたことに森さんは、ほとんど車いすに寝ているようなスタイルでタバコを吸い始めた。森さんの全身から障がい者への差別を許さないという気迫が感じられる。最も日本人は、そんなに力を入れて生きてはいないよ、とおっしゃるかもしれない。

良くも悪くも、「障害者自立支援法」は、障がい者の自立を法的に明文化したもので、その方法をめぐっての違いはあっても、国は障がい者の自立を保証してくれるのだ。森さんのように、障がい者が生きやすい社会を目指して生きてきた方が、声を大にして、そのあり方にモノ申して行って欲しいと願っている。